

# 東京都の情報公開要綱

## こつそり改定 知事承認

# 黒塗り批判で 今度は白塗り

11/23 神奈

「黒塗りでない白塗り優先だ」。東京都がR（カジノを由緒とする統合リゾート）関連文書での情報公開で「黒塗り」批判を浴び、事実上白塗り優先に変更をやむなしの結果（いよいよ）な手段を講じたことが本紙の取材でわかりました。小池百合子知事が情報公開要綱改定を承認し、2月から実施しましたが、その内容は都民に知りせていました。

（函館裕二）

カジノ事業者との面談実績(H28~31)		
H28.1.6	新規社	日本ヒューリック
H28.4.12	新規社	日本ヒューリック
H28.9.12	新規社	日本ヒューリック
H29.4.23	新規社	日本ヒューリック

  

カジノ事業者との面談実績(H28~31)		
H28.4.6	新規社	日本ヒューリック
H28.4.12	新規社	日本ヒューリック
H28.9.12	新規社	日本ヒューリック
H29.7.25	新規社	日本ヒューリック

東京都が非開示部分を黒塗りしたカジノ業者の面談記録(2020年6月開示分)と白塗りされた文書(21年6月開示分)

たのは、江東区民連合の田光司事務局長から月刊「生活文化局」が小池知事に説明した資料(昨年12月3日付)と、1月に改定した情報公開要綱(非開示)など。改定の理由を「複数性の文書は、黒塗りだらけでした」として、白塗り枠付きで「黒塗りの意味を理解するかは各局・市に任せます」と説明します。

I-Rを担当する港湾局は本紙の取材で、生活文化局から要綱改定の通知を受けたが、小池知事への説明資料で非開示部力を白塗りにして、「非開示情報」については「非開示部力を白塗りにして、向」として、白塗り枠付きで「黒塗りの意味を理解するかは各局・市に任せます」と説明します。

小池百合子氏は2016年に知事就任以降、「情報公開は東京大改革の一「丁目一番地」と宣言。小池氏が設立した地域政党「都民ファーストの会」も17年都議選で、政策で、「のり弁」をやめます」「徹底的に情報公開」と公約しました。しかし5年が経過しても、依然として「丁目一番地」を守るために、黒塗りの批判をかわされています。生活文化局によると、被えた疑いが生じる」の声が上がっています。

## 「一丁目一番地」公約5年たつても実現せず

黒塗りの廻しを知った市民団体から「7月の都議選を前に、黒塗りの批判をかわそう」と、あわてて白塗りを加えた疑いが生じる」の声が上がっています。

### 都民裏切りのインチキ

方が一目で判別できる。今回の要綱変更は、小池

清水勉弁護士(東京市国税局監修)の話 東京都は要綱改定の理由を「複数性の向上」としているが、疑問だ。実際に白塗りと黒塗りの文書を比べると、後者の請求者が申請された



示を都に請求したが、保存期間1年を口実に拒否したこと。その後都が非開示部を白塗りに變更するのは、都民を愚弄(ぐろう)するものだと批判します。

示を都に請求したが、保存期間1年を口実に拒否したこと。その後都が非開示部を白塗りに變更するのは、都民を愚弄(ぐろう)するものだと批判します。